

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく  
金融商品に係る業務運営の取組状況（2018年度実績）の公表について

株式会社福岡中央銀行（以下「当行」）は、「これまでも、そしてこれからも、地域になく  
てはならない福岡中央銀行となるために」の基本方針のもと、金融商品に係る業務運営におい  
ては、お客さまの安定的な資産形成に向けたサービスの提供に取り組んでおります。

当行では、2017年7月31日に公表しました「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」（以  
下「本方針」）に基づき業務を行っており、取組状況をご確認いただくため各種指標を以下の通  
り公表いたします。

また、本方針に基づく取組み状況を定期的に公表するほか、より良い業務運営を実現するた  
めに見直しを行ってまいります。

記

1. 公表日

2019年7月31日（水）

2. 取組方針および成果指標（KPI）

- （1）お客さま本位の取組みの実践
- （2）お客さまにふさわしいサービスの提供
- （3）従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
- （4）当行における比較可能な共通 KPI

以 上

## 「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく金融商品に係る業務運営の取組状況 (2018年度)

### 1. お客さま本位の取組みの実践

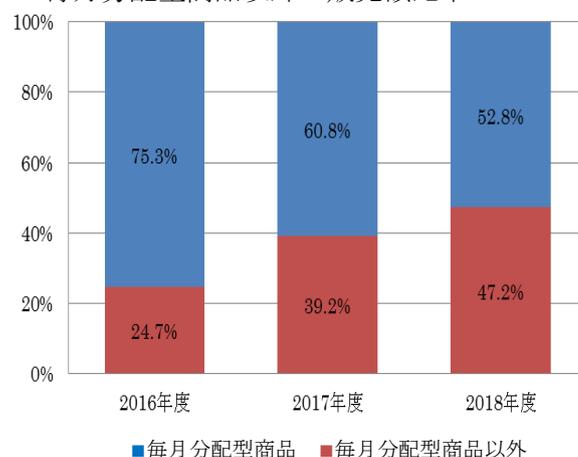
- 投資信託残高は、市況の変動や利益確定の売却などの要因による減少もありましたが、預り資産全体では増加しております。
- 長期的な資産ニーズに適した複利効果が期待できる「毎月分配型商品以外」の販売額比率が増加しております。引き続きお客さまのニーズに沿った提案に努めてまいります。
- お客さまに長期的な資産形成の実現のため、少額から始められる積立投資信託による時間分散のご提案に努めております。その結果、ご契約者数・月間積立金額ともに年々順調に増加しております。

#### ■ 預り資産残高の推移(※)



(※) 投資信託+生命保険

#### ■ 投信販売における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売額比率



#### ■ 積立投信ご契約者数・月間積立金額の推移



## 2. お客様にふさわしいサービスの提供

- お客様の様々なニーズにお応えするために商品ラインナップの充実に努めております。
- 2019年3月末時点では、投資信託43本、生命保険80本を取扱っております。
- ※生命保険は、FPアソシエイツ&ファイナンシャルサービス(株)との共同募集商品56本も含まれます。
- お客様向けセミナー等を定期的で開催し、金融商品情報やマーケット情報など、お客様の資産形成に役立つ情報の提供に努めております。また、2018年度より将来への資産形成の重要性をテーマにつみためNISA、個人型確定拠出年金(iDeCo)等の商品を紹介する職域セミナーを開始しております。

### ■ 投資信託ラインナップ

種類		2017年3月末		2018年3月末		2019年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
債 券	国内債券	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	海外債券	12	36.4%	14	32.5%	14	32.5%
株 式	国内株式	3	9.1%	4	9.3%	4	9.3%
	海外株式	5	15.2%	9	20.9%	9	20.9%
R E I T	国内REIT	2	6.0%	2	4.7%	2	4.7%
	海外REIT	2	6.0%	2	4.7%	2	4.7%
バ ラ ン ス 型		9	27.3%	12	27.9%	12	27.9%
合 計		33	100.0%	43	100.0%	43	100.0%

### ■ 投資信託ラインナップにおける毎月分配型商品以外の比率

種類	2017年3月末		2018年3月末		2019年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
毎月分配型商品以外	17	51.5%	25	58.1%	25	58.1%
毎月分配型商品	16	48.5%	18	41.9%	18	41.9%
合 計	33	100.0%	43	100.0%	43	100.0%

### ■ 投資信託 販売件数上位商品 (2018年度)

順位	商品名	投信会社名	投資対象
1	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	野村アセットマネジメント	海外債券
2	ダイワ J-REIT オープン (毎月分配型)	大和証券投資信託委託	国内 REIT
3	野村インド債券ファンド (年2回決算型)	野村アセットマネジメント	海外債券
4	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	三菱 UFJ 国際投信	海外 REIT
5	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	岡三アセットマネジメント	海外株式

■ 積立投資信託 販売件数上位商品（2018年度）

順位	商品名	投信会社名	投資対象
1	株式インデックス 225	野村アセットマネジメント	国内株式
2	野村インド債券ファンド（年2回決算型）	野村アセットマネジメント	海外債券
3	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）	岡三アセットマネジメント	海外株式
4	ダイワ J-REITオープン（年1回決算型）	大和証券投資信託委託	国内 REIT
5	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	東京海上アセットマネジメント	バランス

■ 生命保険ラインナップ

種類		2017年3月末		2018年3月末		2019年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
変額個人年金 （一時払）	円建	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	外貨建	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
定額個人年金 （一時払）	円建	2	2.5%	1	1.3%	1	1.2%
	外貨建	1	1.2%	1	1.3%	2	2.5%
終身保険 （一時払）	円建	6	7.5%	6	7.7%	6	7.5%
	外貨建	6	7.5%	8	10.3%	7	8.8%
養老保険 （一時払）	円建	-	-	-	-	0	0.0%
	外貨建	-	-	-	-	1	1.2%
定額個人年金保険 （平準払）	円建	5	6.3%	3	3.8%	3	3.8%
	外貨建	1	1.2%	1	1.3%	1	1.2%
終身保険（平準払）	円建	16	20.0%	15	19.2%	15	18.8%
養老保険（平準払）		3	3.8%	3	3.8%	3	3.8%
定期保険（平準払）		15	18.8%	16	20.5%	18	22.5%
収入保障保険（平準払）		6	7.5%	5	6.4%	4	5.0%
医療・がん保険（平準払）		19	23.7%	19	24.4%	19	23.7%
学資保険（平準払）		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		80	100.0%	78	100.0%	80	100.0%

■ 生命保険 販売件数上位商品（2018年度）

順位	商品名	保険会社名	種類
1	エブリバディプラス	明治安田生命	一時払・終身・外貨
2	ステイゴールド	大樹生命（旧 三井生命）	平準払・年金・外貨
3	新医療保険Aプレミア	三井住友海上あいおい生命	平準払・医療
4	生涯プレミアムワールド	T&D フィナンシャル生命	一時払・終身・外貨
5	ふるはーと Jロードグローバル	住友生命	一時払・終身・外貨

■ お客さま向けセミナー・運用報告会 実施回数

2016年度	2017年度	2018年度
3回	6回	9回

■ 職域セミナー 実施回数

2018年度
27回

3. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

- 専門的知識を身に付け、お客さまにとって最良の金融サービスの提供を実現するためにFP等の資格取得を奨励しております。
- FP等資格取得を昇進条件とし、人事制度にも反映しております。

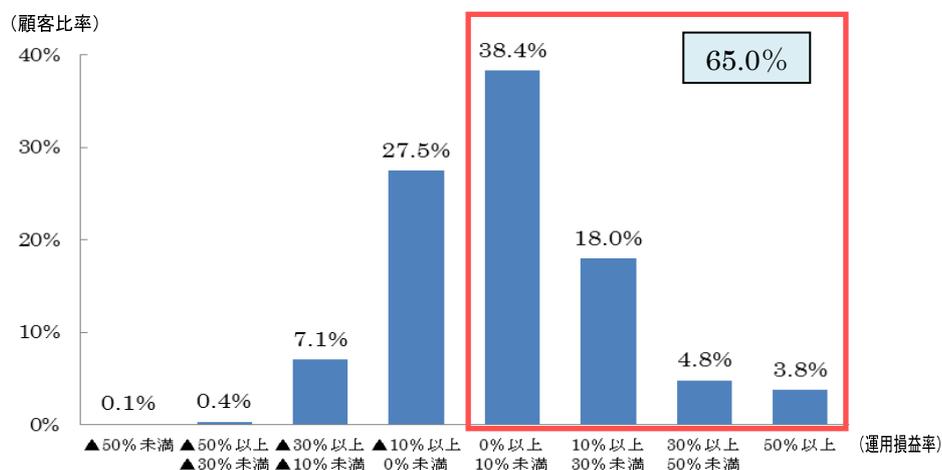
■ FP1級・FP2級の資格保有者数

2018年3月末	2019年3月末
176名	175名

4. 当行における比較可能な共通KPI

- 2019年3月末現在で、当行で投資信託を保有しているお客さまの65.0%が運用損益率プラスとなっております。また、過去の売却や償還による損益を考慮した場合には、65.7%のお客さまがプラスとなっております。

■ 運用損益別顧客比率（確定済み損益を含まない）

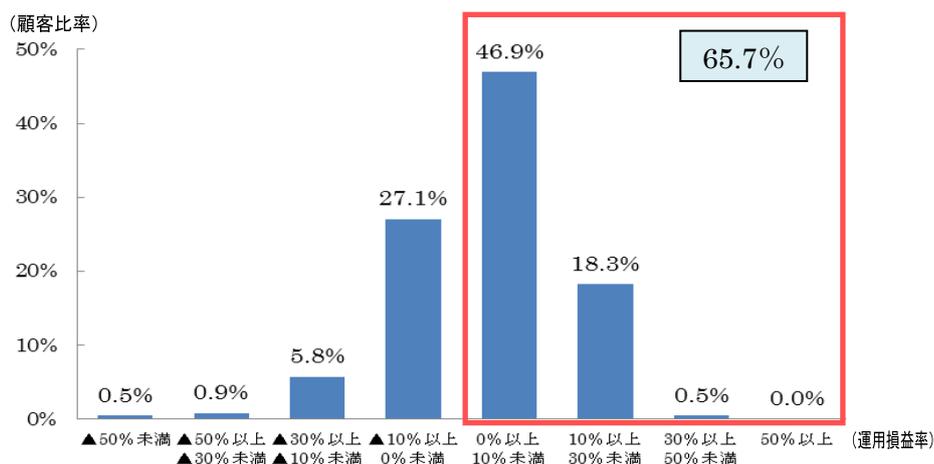


(注1) 基準日は2019年3月末。

(注2) 運用損益は、基準日時点の時価評価金額+累計受取分配金(税引き後)+累積売付金額-累積買付金額(含む税込販売手数料)にて算出。確定済み損益を含まない。

(注3) 運用損益率は、上記運用損益を基準日時点の累積買付金額で除して算出。

■ 運用損益別顧客比率（確定済み損益を含む）



(注1) 基準日は2019年3月末。

(注2) 運用損益は、基準日時点の時価評価金額＋累計受取分配金(税引き後)＋累積売付金額－累積買付金額(含む税込販売手数料)にて算出。確定済み損益を含む。

(注3) 運用損益率は、上記運用損益を基準日時点の累積買付金額で除して算出。

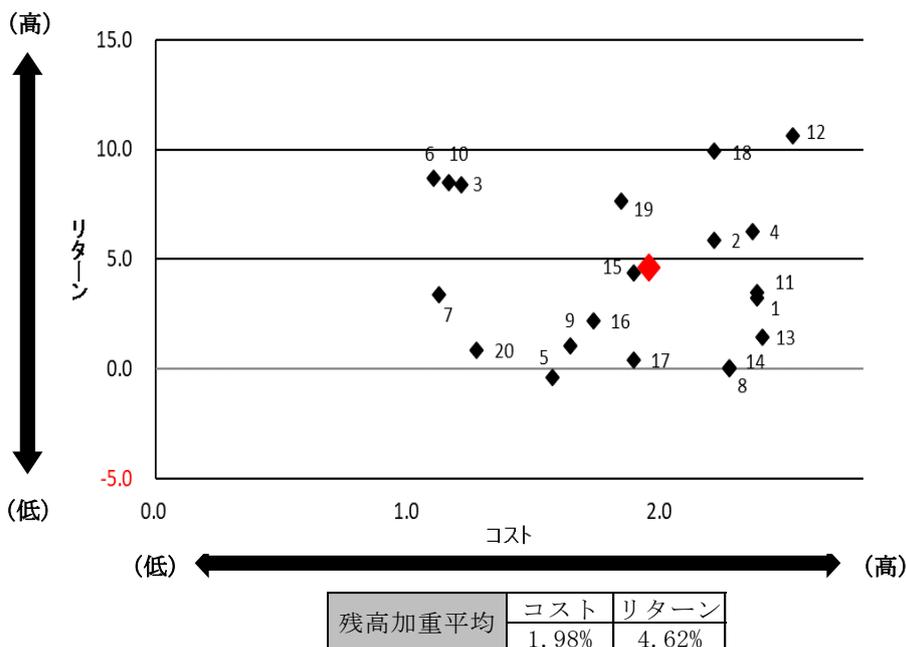
■ 投資信託預り残高上位20銘柄の「リターン」「リスク」「コスト」

【投資信託の預り残高上位20銘柄（2019年3月末時点）】

(単位:%)

順位	ファンド名	投信会社	リターン	リスク	コスト
1	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	岡三アセットマネジメント	3.5	15.7	2.4
2	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	三菱UFJ国際投信	5.9	14.0	2.2
3	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	大和証券投資信託委託	8.4	8.8	1.2
4	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	野村アセットマネジメント	6.3	10.2	2.4
5	オーストラリア債券ファンド（毎月分配型）	野村アセットマネジメント	-0.4	8.5	1.6
6	株式インデックス225	野村アセットマネジメント	8.7	15.7	1.1
7	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	東京海上アセットマネジメント	3.4	2.3	1.1
8	アジア・オセアニア債券オープン（毎月決算型）	岡三アセットマネジメント	0.0	8.0	2.3
9	トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJ国際投信	1.1	5.7	1.6
10	ダイワJ-REITオープン（年1回決算型）	大和証券投資信託委託	8.5	8.8	1.2
11	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）	岡三アセットマネジメント	3.3	15.8	2.4
12	アジア好利回りリート・ファンド	三井住友アセットマネジメント	10.6	12.0	2.5
13	野村新興国債券投信Aコース（為替ヘッジあり）（毎月分配型）	野村アセットマネジメント	1.5	5.6	2.4
14	アジア・オセアニア債券オープン（1年決算型）	岡三アセットマネジメント	0.1	7.9	2.3
15	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ成長重視型	大和証券投資信託委託	4.4	11.0	1.9
16	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ安定重視型	大和証券投資信託委託	2.2	5.2	1.7
17	ダイワ外債ソブリン・オープン（毎月分配型）	大和証券投資信託委託	0.4	7.0	1.9
18	米国連続増配成長株オープン	岡三アセットマネジメント	9.9	15.4	2.2
19	好配当日本株式オープン	野村アセットマネジメント	7.6	15.4	1.8
20	DIAM毎月分配債券ファンド	アセットマネジメントアセットマネジメント	0.9	1.4	1.3

■ 預り残高上位 20 銘柄の「コスト・リターン」及び「リスク・リターン」  
 【投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン】

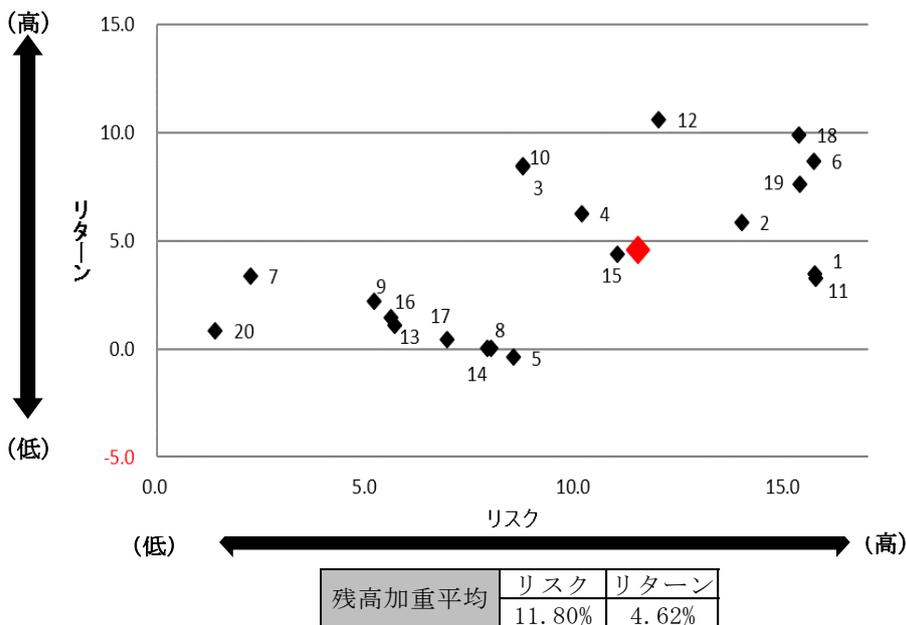


(注 1) 基準日は 2019 年 3 月末

(注 2) コストは、販売手数料率(税抜)と信託報酬率(税抜)の合計値。リターンは、過去 5 年間のトータルリターン(年率換算)。

(注 3) 共通 KPI の基準(設定後 5 年以上)を満たした上位 20 銘柄を抽出。

【投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン】



(注 1) 基準日は 2019 年 3 月末

(注 2) リスクは、過去 5 年間の月次リターンの標準偏差(年率換算。一部日次リターンを使用)。

リターンは、過去 5 年間のトータルリターン(年率換算)。

(注 3) 共通 KPI の基準(設定後 5 年以上)を満たした上位 20 銘柄を抽出。